

京田 辺

自分だけの教科書

シユタイナー学校が展覧会

子どもの学び多彩に表現

子どもの自由な考えや学び、実行力を身につけてもらおうと独自の教育を進めているNPO法人、京田辺シユタイナー学校の生徒たちが、授業の中で作り上げた自分だけのオリジナル教科書、「エポックノート」を紹介する展覧会が4日から開かれ、個性豊かな学びの成果が来場者の関心を引いている。

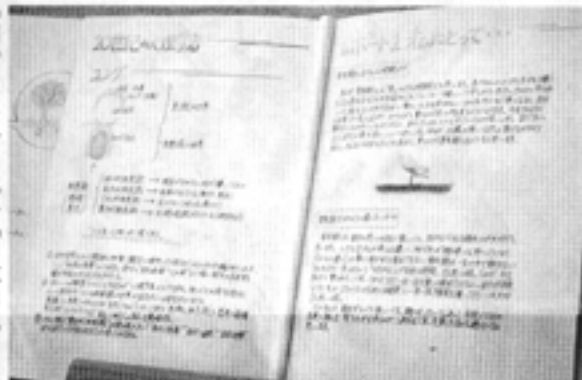
展示されている「エポックノート」は、12年制の同学校で学ぶ子どもたちが、午前2



一つひとつが作品のような12年生までの「ノート」が並ぶ会場



ノートにあるルネサンスの絵画や室町文化の金閣など、教科書のような表現



10年生(高校1年)が分かりやすくまとめたユングの理論のノート

時間のカリキュラムの中で学んだことをノートにまとめ上げたもの。この授業は指定教科書を用いないため、子どもたちは教師の発言や黒板の書き込みを各自ノートに記し、いわば

「自分だけのオリジナル教科書」にまとめる。展示では、1年生から高校生にあたる12年生までの子どもが書いた、色使いも、表現も様々な「教科書」が並んでいる。

世界史のルネサンスについてまとめたノートでは、当時を代表する絵画作品を細かく模写したり、人類学の授業のノートは、20世紀の心理学者ユングにつ

いて、思想や理論を色づけた表と文字で分かりやすくまとめ上げている。そのほか、古典の源氏物語や幾何学、測量術など授業のまとめに加えて、自分から調べた下りたノートは、まさに世界に一つだけ

の「教科書」といった趣き。教員の吉田さんは、「世界の様々な発見ひとつでも、なぜその研究者はその発見や理論に至ったのかを子どもは追体験している。色々な分野に驚きや心を動かして学んでいる子どもたちの成果を是非見に来て欲しい」と話している。

「自由への教育」を育むのは生きる力と懸念された展覧会は、京田辺市中央図書館のギャラリーかんびで、今月9日まで開かれて

いる。【小日向一】